

伊豆市八木沢地区における高収益作物転換整備の提案

東部農林事務所 農村整備課
伊豆市 農林水産課

【提案事業】 水利施設等保全高度化事業（高収益作物転換型）

【事業の目的】

高収益作物を導入した営農体系への転換に必要な畑地化・汎用化を行うために、農業用排水施設整備や暗渠排水等を整備し、農業の競争力を強化します。

【事業内容】

1 農業生産基盤整備（換地を含む区画整理も可能）

(1)農業用排水施設整備 (2)暗きょ排水 (3)農作業道 (4)客土 (5)区画整理(6)除れき (7)農用地造成 (8)農地保全（鳥獣害防止柵等含む）等

2 農業生産基盤整備附帯

(1)土壌改良 (2)耕作放棄地解消・発生防止のための簡易整備

3 農業経営高度化支援

(1)指導 (2)産地形成促進 (3)高地利用高度化推進

【補助率】

伊豆市においては、中山間地域指定であり、高収益作物を栽培する場合、
国61% 県30% 地元9%（産地形成支援事業による国6%加算を含む）

【採択要件】

- ・農業用排水施設、客土、暗渠排水、区画整理のうち1以上実施
- ・概ね0.5ha以上の水田の団地面積の合計が概ね5ha以上
- ・産地推進計画に本事業が位置付けられていること。
- ・高収益作物は基幹作として作付すること。
- ・導入促進整備計画に定める目標年度において、事業の開始時に比べ以下のとおり増加
 - ①水田の受益面積における高収益作物の作付面積割合が5割以上となること。
 - ②受益作付面積割合が10%ポイント以上増加すること。

【参考】

伊豆の国市では楽天農業が約6haの事業を計画中

八木沢地区における事業の検討

【現状】

- 地区内に遊休農地が増えてきており、高齢化や地域外に転出している地権者も多いため、**地域として農地を維持することが困難な状況。**
- 地元建設業者である青木興業株式会社が、**地域活性化計画の一環として、遊休農地の再生を図り、カンキツ栽培を行う「オレンジの里づくり事業計画」を実施。**

【目指す姿】

- 地域内の農地所有者や耕作者の今後の農地利用の考えを確認し、**貸付意向のある農地**については、**青木興業株式会社が借受け、カンキツ栽培を行う。**
- 併せて、**国の基盤整備事業を活用し、持続可能な営農環境の整備**を行うことで、遊休農地の解消と効率的、効果的なカンキツ栽培を推進する。

検討内容	検討の状況
農地利用アンケート 令和4年1月実施	地域内農地所有者132名のうち回答者92名（回答率69.7%） 今すぐ、5年後、10年後に貸出したい意向の農地面積合計：54,716㎡ 基盤整備に同意し、青木興業に貸出す意向の農地面積合計：57,147㎡
八木沢地区外地権者 アンケート	令和4年4月以降、アンケートの回答がなかった方及び地区外在住者37名に対して再度アンケートの送付や電話での連絡を実施 貸出したい意向の農地面積合計：6,873㎡ 基盤整備に同意し、青木興業に貸出す意向の農地面積合計：6,023㎡
地域の事業説明	令和4年11月～12月に地区説明会を実施
事業への移行	地区説明会后、順次、事業同意書の回収と令和5年4月以降事業設計の着手（費用は県と市で負担）